

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第48回宍粟市国民健康保険運営協議会	
開 催 日 時	令和6年6月27日（木）午後3時00分～午後3時50分	
開 催 場 所	宍粟市役所3階 庁議室	
議長（委員長・会長） 氏 名	西明寺 正己	
委 員 氏 名	（出席者） 山國和志 松元二三代 山田博史 井上雅博 牧野修一 縣俊孝 西明寺正己 亀井欣也 小西美穂	（欠席者） 中野典子 小原千種 黒田茂
事 務 局 氏 名	市民生活部部长 森本和人 市民生活部次長 西岡公敬 市民課課長 梶原昭一 市民課副課長 小椋容子 市民課国保係長 中田昭圭 税務課課長 島澤康博 税務課副課長兼債権管理室長 西岡修 保健福祉課副課長 堂田正美	
傍 聴 人 数	0人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理由	公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	【議題】 協議事項 （1）令和5年度宍粟市国民健康保険事業特別会計決算（見込）について （2）令和6年度宍粟市国民健康保険事業特別会計予算について （3）国民健康保険税収納状況等について （4）特定健診・特定保健指導、がん検診、歯科健診について （5）令和5年度国民健康保険事業実績について （6）その他	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	あり	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>(1. 開会)</p> <p>開会あいさつ(略)</p> <p>公益代表の委員に交代がありましたので、新しい委員の紹介をさせていただきます。連合自治会選出の西明寺正己委員です。亀井欣也委員です。</p>
市長	<p>(2. 市長あいさつ)</p> <p>市長あいさつ(略)</p>
事務局	<p>(3. 副会長選出)</p> <p>前任の片山委員は連合自治会選出の委員でございまして、自治会長の任期終了に伴い国保運営協議会委員の任期も終了となったため、現在副会長が不在であるため実施をいたします。</p> <p>宍粟市国民健康保険条例施行規則では、公益を代表する委員から全委員が選挙すると定められておりますが、今回委員が2人交代されたこともあり、この短期間の中で選挙することは容易でないため、公益を代表する委員の皆様と事務局で協議を行い、西明寺委員を副会長に選出をさせていただきたいと思っておりますが、委員の皆様ご承認いただけますでしょうか。</p> <p>《承認》</p>
事務局	<p>(4. 副会長あいさつ)</p> <p>副会長あいさつ(略)</p> <p>《市長退席》</p> <p>本日の出席状況について、ご報告申し上げます。本日の出席委員数は、9名でございます。委員定数の2分の1以上の方に出席いただいておりますので、宍粟市国民健康保険条例施行規則第6条の規定により、この協議会が成立することを報告いたします。</p> <p>出席職員紹介(略)</p>

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>(5. 議長選出)</p> <p>宍粟市国民健康保険条例施行規則第7条の規定によりまして、協議会の議長は、会長があたることになっておりますが、会長が欠席されておりますので、同規則第3条第2項の規定によりまして、西明寺副会長に職務を代理していただきます。</p>
議長	<p>(6. 会議録署名委員選任)</p> <p>会議録署名委員の選任につきましては、宍粟市国民健康保険条例施行規則第11条の規定によりまして、私の方から指名させていただきます。</p> <p>本日の会議録署名委員は、山國和志委員、亀井欣也委員のお二人を指名いたします。</p>
議長	<p>(7. 協議事項)</p> <p>(1) 令和5年度宍粟市国民健康保険事業特別会計決算（見込）について</p> <p>(2) 令和6年度宍粟市国民健康保険事業特別会計予算について</p> <p>(3) 国民健康保険税収納状況等について</p> <p>を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>資料により説明《(1)(2)市民課、(3)税務課》</p>
議長	<p>事務局の説明が終わりましたので質疑に入ります。ご意見ご質問はございませんか。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>(4) 特定健診・特定保健指導、がん検診、歯科健診について</p> <p>を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>資料により説明《保健福祉課》</p>
議長	<p>事務局の説明が終わりましたので質疑に入ります。ご意見ご質問はございませんか。</p> <p>(質疑なし)</p>

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>(5) 令和5年度国民健康保険事業実績について (6) その他 を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p> <p>資料により説明《市民課》</p>
議長	<p>事務局の説明が終わりましたので質疑に入ります。ご意見ご質問はございませんか。</p> <p>(質疑なし)</p> <p>他になければ、本日欠席の黒田委員からご提案をいただいておりますので、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは黒田委員からの提案を説明します。</p> <p>資料P11をご覧ください。上段の③で、宍粟市の特定健診受診率は令和5年度が40.6%となっておりますが、これについては県の平均よりも高くなっているものの、もっと高く、80%位を目標とすべきということで、2つ提案をいただいております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つめは受診者数を増やすために、山崎民生児童委員協議会に特定健診の受診勧奨の協力依頼をしてはどうかという提案です。 <p>民生委員さんが地域住民の家庭訪問をされる際などに、特定健診の受診を勧めてもらってはどうかというものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2つめは特定健診に認知症に対する検診を追加してはどうか。 <p>というものです。</p> <p>以上が黒田委員からの提案です。</p> <p>引き続いて、この提案に対する回答ですが、</p> <p>1つめの山崎民生児童委員協議会に特定健診受診の協力依頼をしてはどうかという提案ですが、民生児童委員さんからの協力を得られるのであれば、心強いことではあるのですが、民生児童委員の皆様の負担が増加することになりますので、当協議会が依頼をする前に打診が必要ではないかと考えております。</p> <p>民生児童委員でもある黒田委員が内部で協議されるとうかがっております</p>

発言者	議題・発言内容
	<p>ので、その協議結果を待ってからでも遅くないと考えています。</p> <p>ただし、当協議会から依頼するのであれば、山崎地区限定ではなく市全体のほうが良いのではないかと考えます。</p> <p>2つめの特定健診での認知症に対する検診の提案がありましたが、特定健診の際に70歳から74歳の方に認知症予防検診を実施しておりますので、対応できているものと考えています。</p>
議長	<p>事務局の回答がありましたが、御意見御質問はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>自治会として健康診断の案内を各家庭に配布していますが、受診を促すことはしていません。受診を促す方向で進めるのであれば自治会のやり方も考えますがどうでしょうか。</p>
事務局	<p>以前は申込書に氏名等を全部印刷していましたが、個人情報保護の観点から印刷しない方法に変わってきています。負担にならない範囲で、組織で取組をしていただき、一緒に考えてもらえれば助かります。40代、50代の若い方の受診が低いということで、スマホで申込みができるとか、こちらもやり方を考えていきたいと考えています</p>
委員	<p>知り合いから80代の御夫婦で、おじい様が亡くなられたあと、おばあ様が健診に行かなくなり、1年も経たないうちにがんが見つかり、闘病生活をされていると聞きました。</p> <p>個人情報のこともあり健診を強制することは難しいところがあると思いますが、具体的にそういう話を聞くと残念に思います。</p>
事務局	<p>宍粟市も高齢者のみの世帯が増えておりまして、年に2回は実態把握員が訪問していますが、ただ年に2回だけです。</p> <p>訪問した際には、主治医の先生に相談を促したり、別居の家族と一緒に受診する形で指導を進めたり、いきいき百歳体操を通じた地域の見守り活動につなげるなど、本人さんが受診したいと思われるよううまく進めていきたいと思っています。</p>
委員	<p>私どもの地域は120件ありますが、民生児童委員3名ほどではなかなか声掛けができないと思います。</p>

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>だから、年配の方へは百歳体操で声かけて受診を促すほうがベストかもしれないです。</p> <p>先ほどおっしゃったように発信の方法として、書面ではなかなか見てもらえないと思いますので、40代、50代にはSNS等の方法が参加しやすいと思います。</p> <p>だから、そういったところをもう少し見直されてもいいのかなと思います。やはり民生児童委員さんだけだと無理なのかなという気はします。</p> <p>必要な情報をきっちり発信して、SNSとかで工夫を具体的にしていけないかなと思います。</p>
議長	<p>まとめになりますが、一つ目の民生児童委員協議会の協力を依頼する提案等につきましては、民生児童委員協議会の協力の意向が確認できれば、協議会として対応するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>その方向で事務局のほうに、返しますので、お願いしたいと思います。ほかに意見はありませんでしょうか。</p>
委員	<p>健診で1番気になるのは健診を受けても、それぞれの人が受診項目を調節されているので、そこへの声かけが要るのかと思います。</p> <p>採血とか簡単な項目は健診を受けられています。胃がん検診とか、面倒くさい大腸がんで便の提出とか、そういった項目は少ないですね。</p> <p>健診を毎年きちんと受けられたきれいな表を患者さんが持ってきてくれるのですが、大腸とか便潜血を受診されておられません。</p> <p>やはり死因の原因として大腸がんが多いので、きちんと受けられているか見ていかないといけないのかなと思います。</p> <p>健診を受けない理由を分析されていますか、何の理由で受けていないとかが分かれば、それに対しての工夫をして受診率を上げるとか、受けられない理由まで書いてもらうようにしているのだから、それに対してのデータを見るのも受診率上げるために必要かなと思います。</p>
事務局	<p>正しい情報、病気が見つかる怖いけど、健診年代の方が健診を受けて、安</p>

発言者	議題・発言内容
委員	<p>心してもらふことと、健診自体も、特に大腸で精密検査になっても、精密検査にまだ行ってない人に精密検査を受けるよう勧奨しています。</p> <p>精密検査に行っていただくとか、市町によっては便の検査のキットを配るとか、申込みをしていない節目の方に受診票を送るとか、いろんな方法をやっておりますので、どの辺りをターゲットにしてお金をかけて周知していくのかということも考えたい。今年度は、40歳の方に無料にして、受診票を全員送るという方法を行った。どこかにターゲットを決めてやっていきたいと思う。</p> <p>はい、ほかにございませんでしょうか。</p> <p>はい、それではないようですので、以上で本日の議題は全て終わりました。これをもちまして協議を終了させていただきます。</p> <p>なかなか不慣れなところで皆様に御協議頂きまして、誠にありがとうございました。</p>